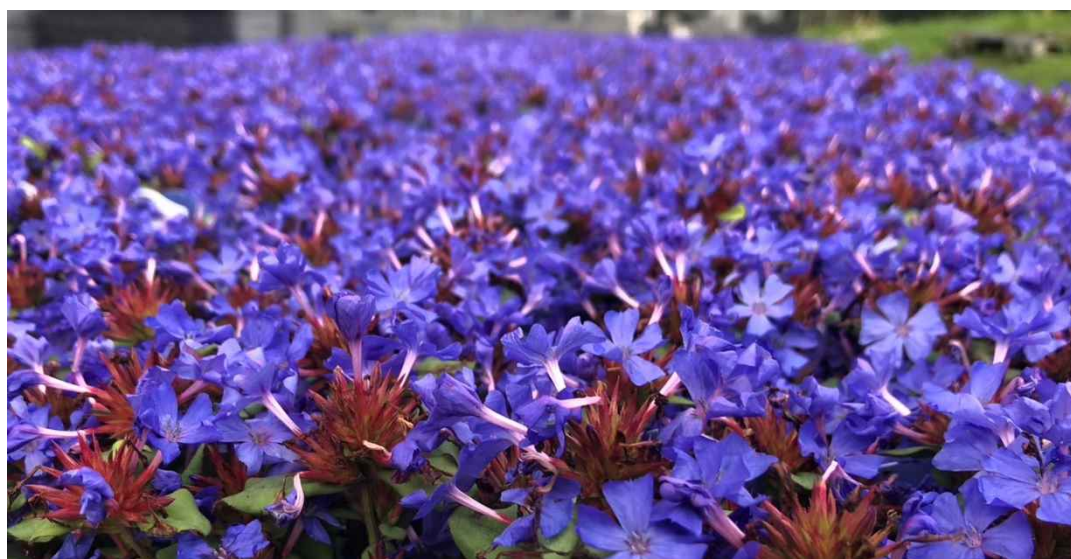


養父市ポットプランツ研究会

就農定着・応援プラン



令和6年3月

養父市
ポットプランツ研究会
就農定着・応援チーム



養父市ポットプランツ研究会の概要

1 位置

養父市ポットプランツ研究会は、兵庫県北部にある養父市の北西部「関宮地域」で活動しています。周囲を山々に囲まれており、西側には県内最高峰となる氷ノ山がそびえ、山頂部や高原の湿地には亜寒帯性の貴重な植物等が残存しているなど、豊かな自然に囲まれた地域です。

2 人口

養父市の人口は21,489人で、うち、2,956人が関宮地域で暮らしています。

3 気候

日本海型気候で、夏季は小雨、冬季は大陸からの季節風による積雪が多い気候です。関宮地域は市内でも標高が高く、平地と比較して冷涼な気候となっています。

4 地域の農業

農業は米、野菜、花きなどが栽培されており、特産品として、ミネラルの多い土壌で栽培された「蛇紋岩米」や、高原部で生産され、きめが細かく柔らかい「轟大根」、冷涼な気候を活かして他産地よりも早く、高品質に生産された「シクラメン」などの花きがあります。他にも、野菜作では有機ほうれんそう、ピーマンや黒枝豆、畜産では繁殖和牛や酪農など、多種多様な品目生産が行われています。

5 付近の観光

近代化産業遺産である「明延鉱山」や、氷ノ山を望む棚田100選にも選ばれた「別宮の棚田」、樹齢千年の仙桜「樽見の大ザクラ」など、歴史的建造物や自然が数多く存在しています。

また、付近には9カ所ものスキー場があり、夏はキャンプ、冬はウインタースポーツなど、レジャー施設も多く存在しています。



地図

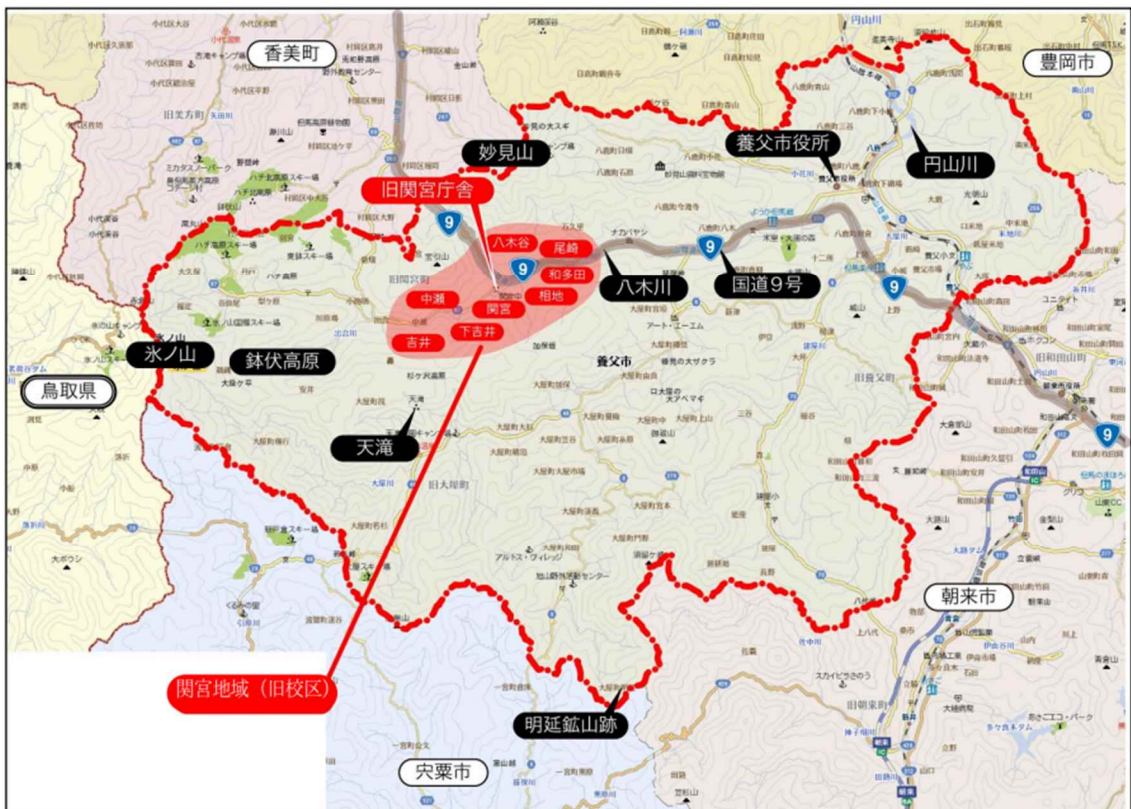


Access

車の場合...
大阪から約2時間
神戸から約1時間40分
京都から約2時間30分

電車の場合...
大阪・神戸・京都から
約2時間10分

飛行機の場合...
東京から約2時間15分
大阪から35分



養父市ポットプランツ研究会の花壇苗生産の概要

1 研究会の活動の概要

令和5年度現在、養父市ポットプランツ研究会の会員数は3名です。養父市ポットプランツ研究会は、昭和44年に県下でもいち早く花壇苗生産を開始した「中瀬園芸」を前身として平成16年に立ち上げられた任意組合で、生産者相互の連絡強化と花き生産の振興を図りながら、高冷地で夏期に冷涼な気候を活かした品目生産を行っています。

2 主要品目

令和5年度は約80品目、90万ポットを生産し、収益性の高い品目での多品目栽培を行っています。以下で、一部品目の紹介をしていきます。



・リンドウ

リンドウは会員全員が栽培している品目で、令和5年度では計6万ポットを出荷しています。全国でも数少ないポット苗のリンドウであり、冷涼な気候を活かした生産で他産地よりも高品質のリンドウを早期出荷しています。



・チェッカーベリー

チェッカーベリーは会員2名が栽培している品目で、令和5年度では計12万ポットを出荷しています。平地では栽培が難しい品目ですが、養父市の気候や夏場に高標高地のハウスに山揚げするなどの工夫で、色付きの良い実がたくさん生った高品質な商品と評価されています。



・ガーデンシクラメン

ガーデンシクラメンは会員全員が栽培している品目で、令和5年度は計7万ポットを出荷しました。秋から冬にかけての人気商品で、特にポットプランツ研究会の苗はコンパクトに締まった苗であると高い評価を得ています。

3 代表的な品目の年間栽培スケジュール

		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
親 方 農 家	浅井崇紀	アッツザクラ											
		カーペットカスミソウ											
		ユーフォルビア											
	浅井昌透	アッツザクラ											
		カーペットカスミソウ											
		ユーフォルビア											
	杉本隆則	アッツザクラ											
		カーペットカスミソウ											
		ユーフォルビア											

4 収入の目安

売上(千円/10a)	経費(千円/10a)	所得(千円/10a)
4,807	4,122	684

研究会会員は一戸あたり40~70a(ハウス面積)で経営されています。
 朝来農業改良普及センターが会員の農業経営実態を参考に作成しました。

5 出荷について

商品は「全農兵庫県本部 兵庫の花集配センター」が集荷し、その後、全国の市場に出荷しています。流通面で大変恵まれた環境にあり、生産活動に集中した経営ができます。

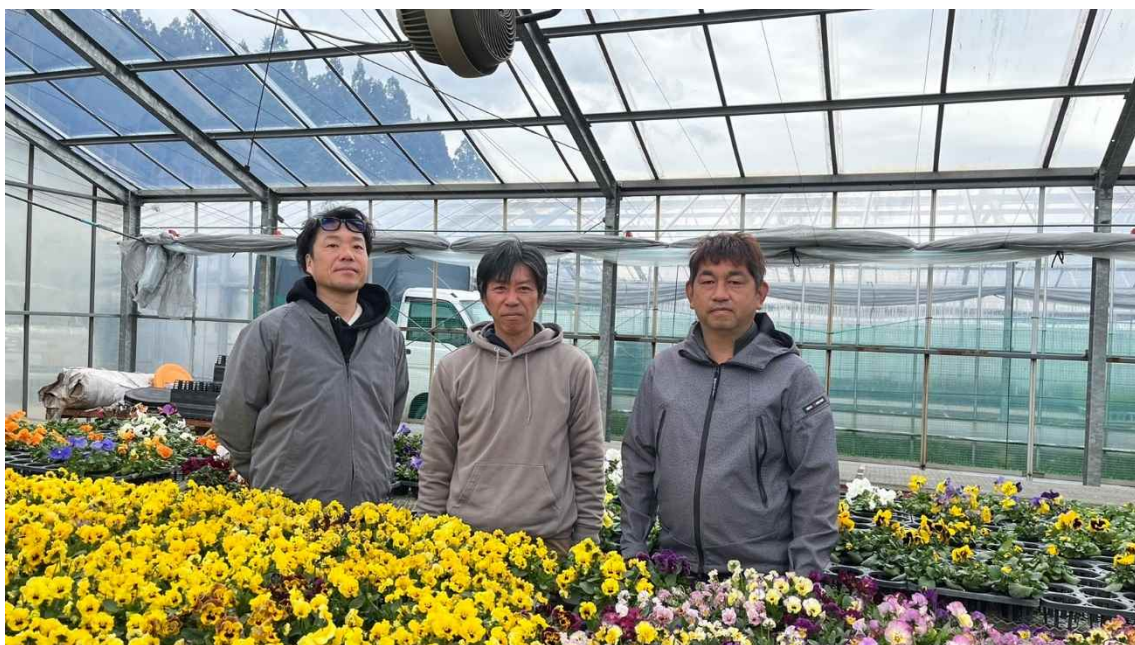
求める担い手

養父市の気候を活かし、周年で収益性の高い特色のある花づくりを行っています。
四季折々の鮮やかな花に囲まれた花壇苗生産は、他の作物にはない良さがあります。
まずは相談やインターンシップをして、花づくりについて知っていただけたらと思います。

求める人材

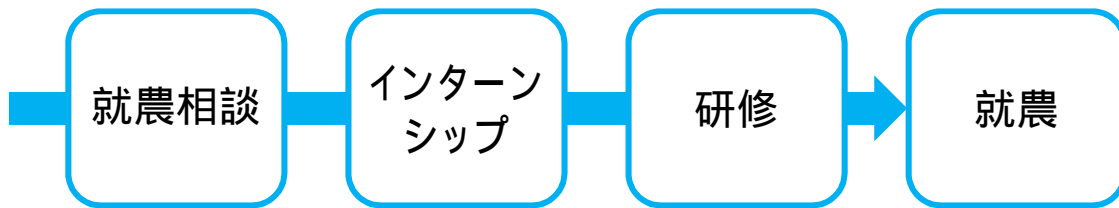
- ・将来、養父市内に在住し、就農を希望される方
- ・花壇苗生産に意欲的な方

私たちと一緒に、生活に**彩り**を加える仕事をしませんか？



研修から就農まで

1 研修から就農までのスケジュール



(1) 就農相談 ... 朝来農業改良普及センターで就農相談を受け付けています。就農にあたっての初期投資や労働時間など、疑問があればなんでもお聞きください。

(2) インターンシップ研修 ... 実際に体験をしたいと思った方に、普及センター等が親方農家を紹介します。短期は1~7日、中期は最長20日のインターンシップでイメージと合っているか、農業に適性があるかを確認します。

(3) 研修 ... 親方の元で2年間程度、実際に栽培管理を行いながら、研修を行います。栽培技術や販売の流れ、地域との関わり方を学びます。

(4) 就農 ... 新しく農地を借りたり、他の生産者から農地を引き継ぎ、パイプハウス等を整備して、独立就農をします。農地取得は養父市がサポートします。就農後は親方や先輩農家がサポートします。

2 親方農家の紹介



浅井 崇紀

就農19年目。花き卸売市場に勤めた後、Uターン就農し、平成21年に経営継承し、経営主になった。

約80aで年間30万ポットを生産。「養父市ポットプランツ研究会は、3名が仲良くまとまっています。協力して花づくりをしていきましょう!」



浅井 昌透

就農25年目。花き卸売市場に勤めた後、Uターン就農。ハウス、露地の合計80aで年間25万ポットを生産。

「集配センターなど花づくりしやすい環境に加えて、豊かな自然で水や空気もおいしく、とても住みやすい場所です!」



杉本 隆則

就農28年目。農業高校の実習で花き生産に興味を持ち、園芸専門学校を卒業後就農。ハウス、露地合計90aで年間35万ポットを生産。

「養父市の気候を活かしたオンリーワンの花づくりを私たちと一緒にやってみませんか。お待ちしております!」

就農者への支援

1 県の取組

農業インターンシップ研修

農業という職業が自分に合っているか、農業に適性があるかなど体験を通じて確認する研修です。

対象者 : 兵庫県内での就農を希望する新規就農希望者で、農業体験を希望する者。

体験期間 : 短期:1日~7日 中期:最長 20 日以内

連続でなくて構いません。土・日も受け入れ可能(研修先と要相談)

お問合せ ひょうご就農支援センターまたは南但地域就農支援センターへ

(公社)ひょうご農林機構 ひょうご就農支援センター HP: https://www.hyogo-shunou.jp TEL:078-391-1222	ホームページ
南但地域就農支援センター(朝来農業改良普及センター) TEL:079-672-6890 E-mail:Asagonk@pref.hyogo.lg.jp	

2 国の取組

新規就農者育成総合対策

(1) 資金面の支援

新たに営農を開始する方に対して資金を助成します。

経営開始資金

対象者: 認定新規就農者¹(就農時 49 歳以下)

支援額: 12.5 万円/月(150 万円/年)×最長3年間

就農準備資金²

対象者: 研修期間中の研修生(就農時 49 歳以下)

支援額: 12.5 万円/月(150 万円/年)×最長2年間

(2) 経営発展への支援

【経営発展支援事業】

就農後の経営発展のために、機械・施設等の導入を支援します。

(機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、機械リース等が対象)

対象者: 認定新規就農者³(就農時 49 歳以下)

支援額: 補助対象事業費上限 1,000 万円((1) の交付対象者は上限 500 万円)

¹ 新規参入者、親元就農者(親の経営に従事してから5年以内に継承した者)のうち新規作物の導入等リスクのある取組を行う者が対象

² 前年の世帯所得が原則 600 万円以下の者を対象

³ 新規参入者、親元就農者(親の経営に従事してから5年以内に継承した者)が対象

3 暮らしのサポート

田舎暮らし体験

短期滞在支援住宅

移住希望者が一定期間市内で生活体験を提供するため短期滞在支援住宅を設けています。

ちょっと暮らし住宅

本格的な移住を前に、移住先として検討している地域での実際の暮らしを体験する「ちょっと暮らし住宅(体験住宅)」を設けています。入居期間は最長1年で、自然や気候、買い物、交通、近所づきあいなどの生活環境を体感したり、仕事や住まいを探したりと移住の助走期間として利用できます。

住宅支援

空き家情報登録制度「空き家バンク」

市内の空き家を利用(賃貸または購入)したい方に対し、空き家バンクに登録された物件の情報提供を行います。

やぶの空き家活用支援事業

空き家を購入または賃借し、水回りの改修や雨漏り補修等の空き家の機能回復および設備改善のための工事を行う場合、対象経費の1/3~1/2(最大150万円)を補助します。年齢要件等あり。

U・Iターン奨励金

U・Iターン者又は世帯が本市に定住若しくは学生U・Iターン者が就業のため本市に居住した場合、奨励金を支給します(年齢要件あり)。

子育て支援

子供医療費支援あり(健康保険適用分の医療費無料(高校3年生まで))

小学4年生～高校3年生までのお子さんが市内在住の場合、健康保険適用分の医療費を全額助成します。

18歳到達後最初の年度末まで、高校生助成は令和5年7月から実施

認定こども園・保育所の保育料完全無償化

養父市に住民票がある家庭を対象に、保育料・副食費を無料としています。

学童保育事業

保護者が昼間家庭にいない児童(小学生)が安心して放課後過ごせるよう、月曜日から土曜日まで全小学校区に学童クラブを設置しています。(土曜日は希望制)

休日一時預かり事業

保護者の就労形態の多様化や傷病等による緊急時の児童の一時的な保育に対応するため、休日や祝日に児童の一時預かり保育を行っています。

(対象:3歳児から小学6年生まで)

お問合せ

養父市役所 産業環境部 農林振興課

TEL:079-664-0284 E-mail:nousei@city.yabu.lg.jp